

第174回 東葛しぜん観察会

手賀沼でお散歩しぜん観察会

川瀬美幸（柏市）

日 時：2022年6月5日（日）9時30分～12時頃まで 天気：曇り

場 所：手賀沼自然ふれあい緑道周辺（北柏駅出発、柏ふるさと公園解散）

参加者：一般18名（内 子ども2名）、指導員16名

観察会の翌日に関東は梅雨入り、当日の朝にもパラっと雨が降り 担当者間で慌てて連絡を取り合う一幕もありました。次第にお天気は回復し 暑さもそれほどでもなく、まさに今回のテーマのお散歩日和になりました。

北柏駅で集合後、隨時参加者を大堀川へ誘導して観察会スタート。旧水戸街道に架かっていた木製の橋や手賀沼のウナギなどを駄送した街道などを想像してもらいました。担当者下見の時にはカワウが大きな巨大なタウナギを丸呑みにする姿が見られたのですが、最近はウナギから外来種のタウナギに手賀沼の主は姿を変えてしまったのかな？

手賀沼自然ふれあい緑道入口では、廣川さんから指定管理者の立場でお話をいただき、年に10回以上にも及ぶ草刈りや365日のパトロールなど初めて知る内容に参加者は驚いていました。虫さがしポイントでは草刈りを調整して当日に備えていただき、お陰でチョウやバッタなどたくさんの生きものを観察することができました。

緑道の地下には北千葉導水の直径3.2mの導水管が2本並んで布設されており、所々に空気弁と共に「藤姫伝説」の石碑が設置されています。その場所をポイントにして辿るようにルートを設定しました。（当日行けなかった石碑も含め資料で配布）

蛇がモチーフになった石碑と周辺に植えられた樹木など、ポイントごとに観察する対象も様々でしたが、鈴木さんが統一資料を作成してくださったお陰で、私も廣川さんも安心して案内ができました。

北千葉導水センターでは導水管を経由して手賀沼へ流される大量の水を間近で見学。かつて27年間も湖沼水質ワーストNo.1だった手賀沼ですが、北千葉導水という利根川と江戸川をつなぐ思い切った工事をしたおかげで、手賀沼や大堀川沿いの公園や緑道が造成され、浄化注水で手賀沼の水質が改善し、現在では市民に憩いを与えてくれています。

今回は観察ポイントが盛り沢山で時間が押してしまいましたが、遠景なども楽しみながらゆったりした気持ちでお散歩も楽しめたと思います。

私の班は中学生や小学生のお子さんが参加しましたが、とても観察することに熱心で虫メガネや手触りや匂いなど五感を使いたくさん発見をしてくれました。

最後の感想で中学生の女の子は、「学校の授業も今回の観察会のような体験型だったらもっと楽しく取り組めるのに」と言っていたのが印象に残りました。



大堀川は流山～柏～手賀沼に流れています



悲しい手賀沼の藤姫伝説 石碑が6つみられます